

表面統計

備考	日六月一	1900	1930	1900	1830	1540	1450	1340	1300	
1. 補助官ノ任務分擔表別紙ノ如シ 2. 對抗部隊差出区分及戦況現示並勤務員差出区分ハ別ニ示ス 3. 記載ナキ細部ハ遠藤大尉ヨリ指示セシム 4. 月五日ト予定スルモ敵情ニ依リ変更スルコトアリ	0900	2040	1930	1900	1830	1540	1450	1340	1300	
		2140	2030	1920	1850	1410	1530	1440	1330	
		60分	60分	30分	20分	1時間30分	40分	1時間	30分	
	請評	中隊 第四	中隊 第五	砲兵 砲兵	砲兵 砲兵	砲兵 砲兵	砲兵 砲兵	砲兵 砲兵	砲兵 砲兵	砲兵 砲兵
		第三分隊戦闘	陣中勤務	右	夜間射撃設備	突撃射撃	小隊戦術訓練	右	同	右
		夜間攻撃				小銃軽機銃機銃銃台ノ第三習會	展開ヨリ突撃			機銃分隊突撃
		校度	東北	北側	東北	西側	東北	北側	東北	北側
		第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一	第一
		八時五十分迄ニ南面ノ四半夜ニ集合スルモ	一助分隊長トテノ助手名粗重手トシテ締成スルモノトス	一分隊長ノ助射ノ実施ス		射撃設備ハ完了シテモトス	一般中隊格闘銃中隊順序ニ突撃ス			一分隊長ノ助射ヲ先置ス

補助官同助手任務分擔表

區分 全般補助官 助手 第一日 第一日

備考

1. 補助官ノ任務分擔表別紙ノ如シ  
 2. 對抗部隊差出区分及戰況現示並勤務員差出区分ハ別ニ示ス  
 3. 記載ナキ細部ハ遠藤大尉ヨリ指示セシム  
 4. 九月五日ノ予定スルニ敵情ハ依リ変更スルコトアリ

補助官同助手任務分擔表

區分	全般補助官		助手		第一日	第二日
	イ	ロ	ハ	ニ		
遠	尾少尉	道助曹長	○	○	○	○
藤	林少尉	西伍長	○	○	○	○
大	分部少尉	北藪軍曹	○	○	○	○
石	多田見習士官	川口伍長	○	○	○	○
川	石川准尉	置住伍長	○	○	○	○
准	奥原准尉	東山伍長	○	○	○	○
兵	北風少尉	谷本軍曹	○	○	○	○
經	小池少尉	伊井曹長	○	○	○	○
衛	林少尉	西伍長	○	○	○	○
馬	武藤中尉					
	小松(區)中尉					
	江崎曹長					

一本表記載符號

1. 單容検査試問(軍占上)軍容ヲ試トアルハ試問ヲ示ス

2. 機關銃射撃設備

3. 一般中隊分隊戰鬪教練

4. 機關銃分隊戰鬪教練

5. 歩兵砲分隊戰鬪教練

6. 小隊戰鬪教練

7. 小隊戰鬪射撃

8. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

9. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

10. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

11. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

12. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

13. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

14. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

15. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

16. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

17. 歩兵砲分隊戰鬪射撃

服裝馬裝規定

區分

課目

服裝

馬裝

摘

要

軍容検査

軍装ニシテ被甲ヲ除キ鐵帽ヲ着用器具携行  
進士官以上背負衣ヲ除キ被服(夏)襦袢袴下各一敷下ニ(冬)手入具携行口糧甲一日分日用品若干 馬装ハ軍装ニシテ携得馬糧一日分携行 MGAハ駄馬トス

補足ニシテ衣 塗油紐 日用品若干等ヲモ入組メ 被服手入具 燕口袋 油壺 洗濯刷毛 靴刷毛等

陣中勤務

軍装ニシテ背負衣被甲ヲ除キ所要ノ偽裝標識ヲナシ 演習ニ必要ナル材料ハ適宜携行スルモノトス

戦闘教練

軍容検査時ニ同シ 現地ニ即スル偽裝ヲナシ 普開戦闘教練ニ同シ

夜間戦闘教練

防音装置及標識ヲナシ 講評ノ爲メ集合スルキハ徒手帶剣巻脚絆 筆記具携行

講評及総評

對抗部隊

軍装ニシテ背負衣 鐵帽被甲ヲ除キ帽ニ白帶ヲ附ス

補助官出身中隊ヨリ差出シ 所要ノ材料ヲ携行スルモノトス

補助官同助手 使役兵 馬傳令

軍装ニシテ背負衣被甲 鐵帽ヲ除キ靴ニ白布ヲ附ス

備考

ハ略授ヲ保用スルモノトス 又石川進尉ハ幕舎 食事 其ノ他ノ準備ヲ予メナシ置クモノトス

軍容檢查計畫

檢閱課目 整列、軍容檢查、學科試問

受檢者 初年兵全員

場所 系敷西側廣場

摘要  
 一、受檢部隊、〇九五連、  
 整列完了、  
 二、整列位置、教育隊長  
 適宜決定、

- 一、檢閱順序、第八、第六、MG IA、教育班、
- 二、檢查時、試問、行、
- 三、終了、次、受檢準備、移、

集合隊形（併立縱隊）

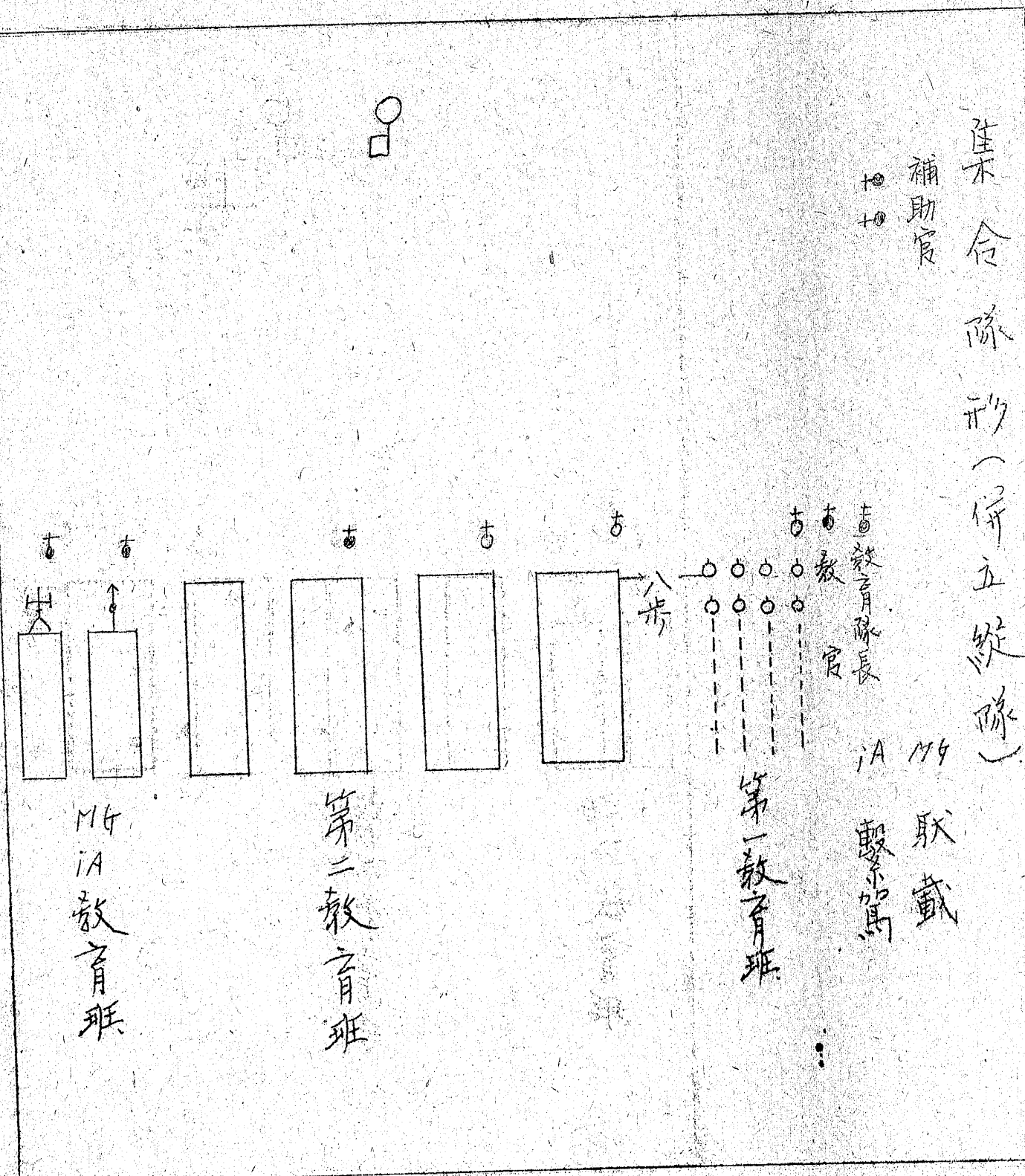
補助官

教育隊長

MG 狀戴

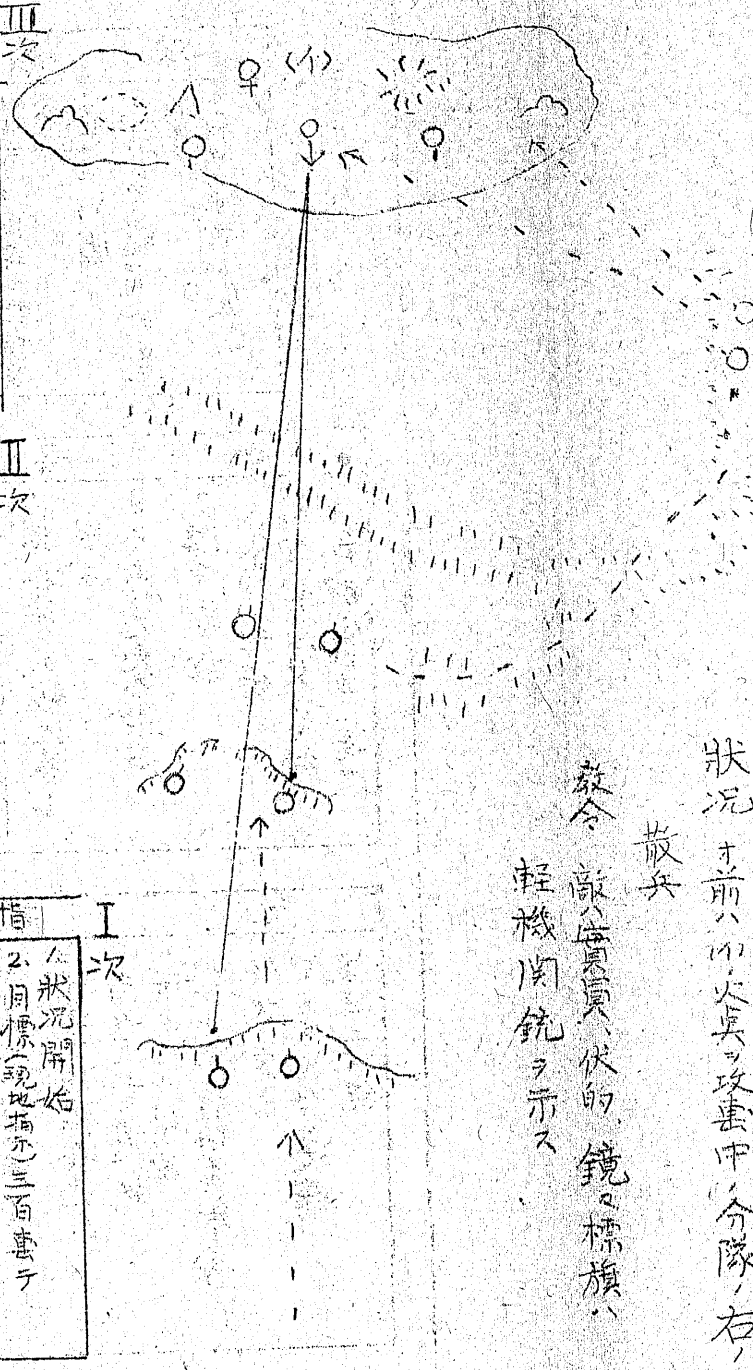
教育官

第一教育班



小銃戰鬥各個教練檢閱計畫

課目	手榴彈ヲ投擲シテ行フ突撃	場所	糸敷東北側台上
主要事項	一 停止後速カニ地形地物ヲ利用シテ行フ的確ナル射撃 二 投擲ノ為潛進要領 三 正確ナル手榴彈ノ投擲及之ヲ連撃シテ行フ突入	受檢部	一 空包各人五発 二 模擬手榴彈各人二 三 編成助教一兵八
實施要領	一 全員ニ對シテ狀況ヲ與ヘニ名ツ助教指導ヲ下ニ實施セシム (途中ニテ潛入投擲ヲ命ズ) 二 補助官助手ニテ檢ス	對抗部	一 長以下五名 二 輕機一鏡一小銃三伏的二 三 標旗一 空包一。



狀況  
 才前ハ山火兵ヲ攻撃中ノ分隊ノ右ノ散兵  
 敵ノ散兵實伏的鏡ニ標旗ハ  
 輕機筒銃ヲ示ス

指	一 狀況開始 二 目標鏡地指示三百米ヲ 三 早返前ハ	著	一 地形地物ノ利用 二 迅速光目標発見 三 迅速位置選擇	眼	一 呼吸停止 二 突進位置選擇 三 突進要領
指	一 潛進投擲ノ任務附与 二 各個ニ投擲	著	一 劇動後、正確沈着ニ射撃 二 不意急襲射撃 三 潛進要領	眼	一 匍匐屈身要領 二 投擲位置選擇
指	狀況終リ	著	一 側背ヲ同時ニ投擲突入 二 企圖ノ秘匿 三 爆裂ノ瞬間ヲ利用ス 四 猛果敢ニ突撃	眼	一 猛果敢ニ突撃